

～天王寺・阿倍野地区～

■公園・動物園の魅力向上

【概要】

- ・「天王寺・阿倍野地区」の核となる天王寺公園・動物園について、民間活力を導入し、これまで公共では実施することが困難であった質の高い空間の創造及び継続的な管理を行うことで、公園全体の魅力創造、さらには「天王寺・阿倍野地区」全体の集客力と地域のブランド力の向上を図っていくため、天王寺公園エントランスエリア等に民間活力を導入する。
- ・平成27年度のシンボルイヤーに合わせ、動物園開園100周年事業の実施に向け、来園者の利便性・回遊性を高めるため、園路・広場を整備するとともに、快適性を高めるための施設整備を実施する。

【取組状況】

- ・天王寺公園エントランスエリア等において、賑わい創出事業（ハード・ソフト事業）及び維持管理事業を担う事業者の公募を開始（H26.1月）
- ・観光バス駐車場整備（天王寺ゲート側3台、新世界ゲート側4台）、園路舗装改修
- ・天王寺公園エントランスエリア等において、賑わい創出事業（ハード・ソフト事業）及び維持管理事業を担う事業者の決定（H26.10月）
- ・慶沢園の整備（H26年度）
- ・エントランスエリアの基盤整備、案内サイン・動物園連絡ゲート実施設計（H26年度）
- ・動物園内のトイレの改修・美装化、ケータリング・カー導入、広場整備、園路舗装改修（H26年度）
- ・エントランスエリア・茶臼山北東部エリアでの民間事業者による運営開始（H27.10月予定）

【成果】

- ・天王寺公園エントランスエリアへの民間活力を導入、あわせて、現在閉鎖されている茶臼山北東部エリアも民間活力の導入による事業の対象範囲としたことで、北側の四天王寺・一心寺の社寺エリアから天王寺公園への回遊性の向上など、更なる活性化が期待できる。
- ・重点的に施設整備・課題改善を図ることにより、施設の老朽化などの課題に対する改善を着実に実施するとともに魅力向上策の検討を進めている。
- ・動物展示の工夫、イベントの充実などにより動物園入園者数は123万人（H23年）から136万人（H26年）に増加した。
- ・動物園、美術館、慶沢園を除く公園区域の入園料無料化を実施した。（H27.4月）

■周辺エリアとの連携・回遊性の向上

【概要】

- ・天王寺ターミナルと動物園・美術館・慶沢園などをつなぐ場所である天王寺公園エントランスエリア及び、公園北側社寺と公園をつなぐ茶臼山北東部エリアへの民間活力の導入を図ることにより、公園内及び周辺との回遊性の向上を図る。また、公園が地域の活動拠点の1つとなることにより、公園及び周辺地域の魅力向上・活性化を図る。
- ・「天王寺・阿倍野地区」では、「Welcomingアベノ天王寺キャンペーン」や「上町台地マイルドHOPEゾーン協議会」の取り組みをはじめ、多くの団体、組織、個人が継続的な活動を行っている。これらの地域の資源を活かした魅力ある地域づくりの取組みと一体となって、エリアの魅力向上を図れるよう、「天王寺・阿倍野地区」の地域連携をすすめる。

【取組状況】

- ・天王寺公園エントランスエリア等において、賑わい創出事業（ハード・ソフト事業）及び維持管理事業を担う事業者公募開始（H26.1月）、事業予定者の決定（H26.10月）、民間事業者の運営開始（H27.10月予定）
- ・集客促進のための連携に関する調査を実施（H26年度）
- ・天王寺公園エントランスエリア等のリニューアルオープンや動物園100周年を契機として、公園・動物園を核に地区全体の価値を高めるためプロモーションに取り組む。

【成果】

- ・天王寺公園エントランスエリア等において民間活力を導入することにより、天王寺公園が核となり、地域連携が促進されることが期待できる。
- ・天王寺公園が地域の活動拠点の1つとなることにより、公園及び周辺地域の魅力向上・活性化が期待できる。

【課題】

- ・老朽化した獣舎施設や映像館、植物温室などの整備・改修
- ・天王寺ターミナルから天王寺公園への動線のわかりやすい案内、動物園・美術館へ向かうルートのわくわく感創出

【今後の方向性】

- ・天王寺公園エントランスエリア等への民間活力導入を機に、民間事業者が公園全体のマネジメントの中核的な役割を担う
- ・動物園について、新たな基本計画を策定するとともに、ハード・ソフト両面での魅力向上策を実施
- ・茶臼山、案内サイン、動物園連絡ゲート、動物園内の園路・広場など施設整備の推進及びC・S向上
- ・区役所や周辺企業、地域団体、寺社仏閣なども取組みごとに連携を深め、ネットワークを拡大

天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業

経 過

天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業の事業予定者選定にあたり、外部の有識者からなる「天王寺公園エントランスエリア魅力創造・管理運営事業予定者選定委員会」において審査を行い、本選定委員会の意見を踏まえ、事業予定者を決定しました。
平成26年12月26日に事業予定者と協定書を締結し、平成27年10月1日から事業者による運営開始を予定しています。

事 業 者

近鉄不動産株式会社（平成26年12月に事業者として決定した近畿日本鉄道株式会社は、平成27年4月1日付けで純粋持株会社制移行に伴う会社分割が行われており、本事業は近鉄不動産株式会社に承継。）

事業期間

平成27年10月1日から平成47年9月30日まで（20年間）

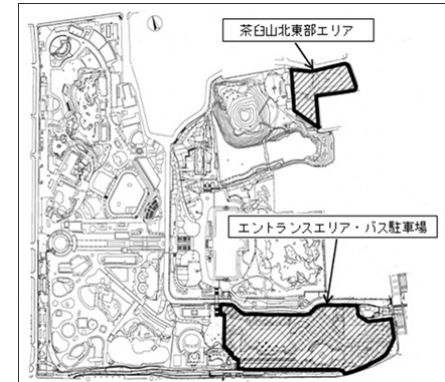
事業対象区域及び事業内容

【事業対象区域】

- ・エントランスエリア（約25,000㎡）
- ・バス駐車場（約1,160㎡）
- ・茶臼山北東部エリア（約5,400㎡）

【事業内容】

- ・賑わい創出事業（ハード事業）
新たな賑わいを創出する飲食・物販施設等の設置・運営、公園・緑地整備
- ・賑わい創出事業（ソフト事業）
イベント等の企画・実施、プロモーション活動
- ・維持管理事業
清掃・警備、緑地・施設維持管理



整備計画の概要（本市との計画協議により決定）

- （1）エントランスエリア
（愛称『てんしば』）

【整備概要】

- ・芝生広場（約7,000㎡）
- ・カフェ
- ・レストラン（2店舗）
- ・フラワーショップ
- ・こどもの遊び場（屋内・屋外）
- ・フットサルコート（3面）
- ・コンビニエンスストア
- ・ドッグランなど



全景（事業対象区域はC・Gによる合成）



芝生広場（完成予想図）



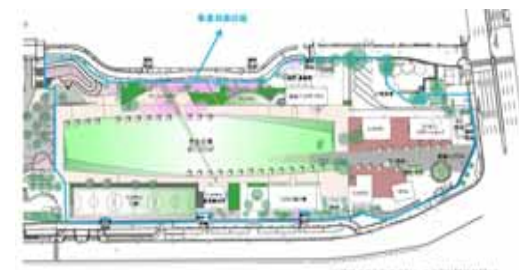
エントランスエリア東側（完成予想図）

エントランスエリア（愛称『てんしば』）整備概要図

- （2）茶臼山北東部エリア

【主な提案施設】

- ・カフェ、コンビニエンスストア、駐車場



※本図はあくまで計画であり、実際の状況とは異なる場合があります。